

株式会社レスターホールディングス

2022年3月期第3四半期
決算補足説明資料

2022年2月10日



2022年3月期第3四半期
連結業績ハイライト（累計）



業績ハイライト

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	234,827	—	296,260	—	61,432	26.2%
売上総利益	19,163	8.2%	22,153	7.5%	2,989	15.6%
販売管理費	14,279	6.1%	16,090	5.4%	1,811	12.7%
営業利益	4,884	2.1%	6,062	2.0%	1,178	24.1%
経常利益	4,346	1.9%	5,520	1.9%	1,173	27.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,267	3.1%	5,416	1.8%	△1,850	△25.5%

■ 売上高

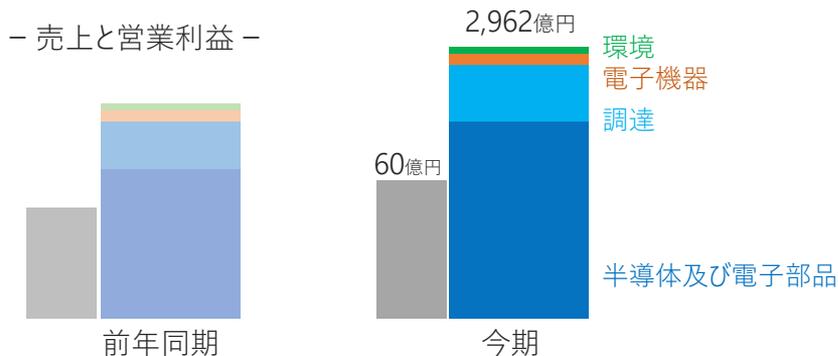
民生機器、車載機器向けなど旺盛な需要により半導体及び電子部品事業や調達事業が好調に推移し増収

■ 営業利益・経常利益

増収による売上総利益の増加や販売管理費の抑制により増益

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

PALTEKを完全子会社化したことに伴い、負ののれん発生益として1,934百万円を特別利益に計上したものの前年同期に投資有価証券売却益3,865百万円を計上していた影響もあり減益



半導体及び電子部品事業

■ デバイス ■ EMS

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	165,540	217,356	51,816	31.3%
セグメント利益	5,557	6,232	675	12.2%



■ デバイス事業

民生向けや車載向け、サーバー関連等の需要増により増収

■ EMS事業

スマートフォン向けなどの受注増加並びにスマートフォンの高機能化による部品搭載数の拡大により増収

■ セグメント利益

前年度の一過性高収益案件が剥落したもののデバイス事業並びにEMS事業の増収により増益

□ 今後の取り組み

PALTEKの*FPGA技術をコアの一つとして更なるモジュール化を進めシステム提案力の強化や高付加価値案件の受注

*FPGA (field-programmable gate array) : 製造後に何度でも開発エンジニアの手元で設計変更が可能

: 通信、産業機器から家電まで幅広い用途に対応できる集積回路の一種



調達事業

■ 調達

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	52,007	63,049	11,042	21.2%
セグメント利益又は損失（△）	△ 158	517	676	-



■ 調達事業

産業向けや車載関連、P C 向け部品を主力としたパナソニックグループ向けの販売増に加えて、パナソニックグループ向け以外のビジネスも好調に推移し増収

■ セグメント利益

増収と円安による売上総利益の改善並びに販売管理費の抑制により増益

□ 今後の取り組み

調達機能における付加価値拡大並びに新規案件の受注



電子機器事業

■ 電子機器 ■ システム機器

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	12,315	13,475	1,159	9.4%
セグメント利益又は損失（△）	148	△ 42	△ 191	-



■ 電子機器事業

放送・映像制作の大型案件の納入、撮影機材、並びに会議システムの需要増により増収

■ システム機器事業

マイナンバー個人認証機器が売上伸長したものの、主にオフィス向け自動販売機等の需要低下に伴う決済用キャッシュレス端末の需要減、及び部品不足に起因したサプライチェーンの混乱による出荷影響もあり減収

■ セグメント損失

システム機器事業の減収並びに調達コストの上昇等により減益

□ 今後の取り組み

電子機器：企業向けの大型LEDビジネス案件獲得等に注力するとともに、教育機関や自治体への取り組みを推進

システム機器：マイナンバー個人認証関連機器の製造・販売の拡大、並びに新たに子会社化するカードサービス株式会社等との連携による競争力の高い新しい製品開発も推進

環境エネルギー事業

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	7,127	6,768	△ 359	△ 5.0%
セグメント利益又は損失（△）	△ 32	265	297	-



■ エネルギー事業

国内の太陽光や風力の発電、及び台湾の太陽光による発電量の増加により増収

■ 新電力事業

テレワークの定着化が進みオフィス向けを中心とした民間需要が減少したことなどから減収

■ 植物工場事業

コンビニエンスストア向けの需要低下や2021年8月に鹿角工場で発生した火災事故の影響により出荷量の減少もあり減収

■ セグメント利益

エネルギー事業の増益、植物工場事業の損益改善により増益

□ 今後の取り組み

脱炭素をはじめとした再生可能エネルギー関連の環境事業拡大とマイクログリッド（小規模電力網）を活用した地方創生の取り組みを積極的に進めるとともに、植物工場事業では新製品の開発や、生産効率の改善に努める



連結貸借対照表

PALTEKの連結子会社化や増収に伴う売掛金の増加、棚卸資産の増加、及び短期借入金の増加等

(単位：百万円)

	2021年3月末	2021年12月末
資産の部		
流動資産	146,133	180,750
固定資産	44,252	52,630
資産合計	190,385	233,380
負債純資産の部		
流動負債	94,095	133,959
固定負債	20,031	18,559
純資産	76,258	80,861
負債純資産合計	190,385	233,380
自己資本比率	38.6%	32.9%

2022年3月期通期見通しと進捗

2022年2月10日に通期業績見通しを修正いたしました。

単位：百万円	前回予想 (2021年5月12日発表)	今回予想 (2022年2月10日発表)	増減率	2022年3月期 第3四半期	進捗率
売上高	350,000	400,000	14.3%	296,260	74.1%
営業利益	6,500	7,000	7.7%	6,062	86.6%
経常利益	7,000	6,000	△14.3%	5,520	92.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	6,000	20.0%	5,416	90.3%



株主還元方針

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

増配のお知らせ

期末配当：特別配当として増配

当期の期末配当金予想につきましては、通期連結業績予想の修正を踏まえ、前回予想から特別配当10円を加えた1株当たり55円（普通配当金45円、特別配当金10円）と修正いたします。これにより、1株当たりの年間配当金は100円（普通配当金85円、記念配当5円、特別配当10円）となる予定です。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想 (2021年11月11日公表)	45円00銭 (普通配当 40円00銭) (記念配当 5円00銭)	45円00銭	90円00銭 (普通配当 85円00銭) (記念配当 5円00銭)
今回配当予想 (2022年2月10日公表)	同上	55円00銭 (普通配当 45円00銭) (特別配当 10円00銭)	100円00銭 (普通配当 85円00銭) (記念配当 5円00銭) (特別配当 10円00銭)



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

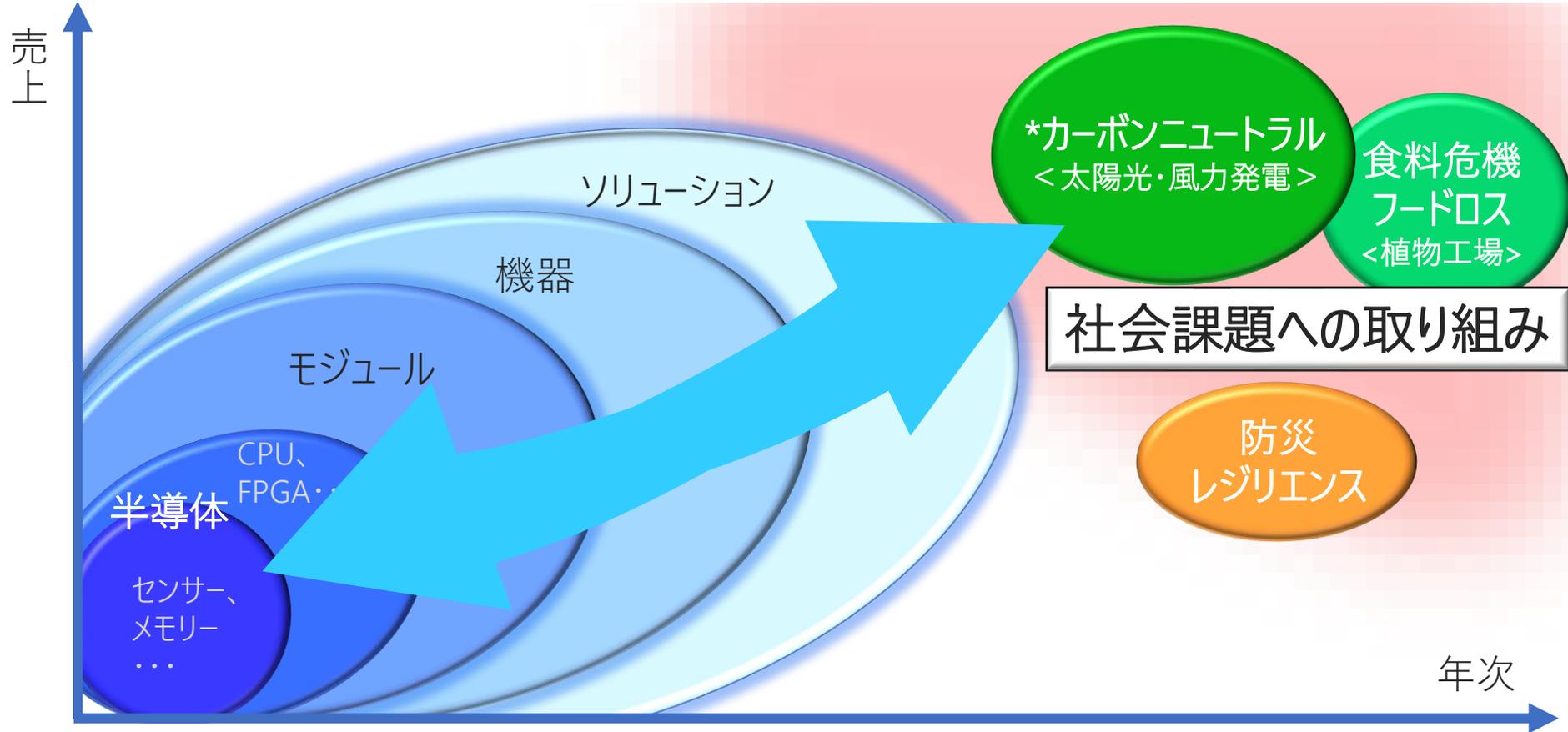
あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します



レスタ-グループの取り組み方向性



*カーボンニュートラル：実質炭素排出ゼロ



グループビジョンと事業TOPICS

エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する。

革新的ビジネス
の創出

情報×技術
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

1. プライム市場における対応状況(サステナビリティ・TCFD関連)
2. 社会貢献：財団共同設立
3. ウフル協業：自治体レジリエンスソリューション推進
4. レスターコミュニケーションズ ショールーム 開設



1. プライム市場における対応状況 (サステナビリティ・*TCFD関連)

当社は「プライム市場」銘柄に選定され、サステナビリティに関連する取り組み、並びにカーボンニュートラル、TCFDへの取り組みを進め、具体的な内容を今後開示してまいります

2022年4月

東証一部

プライム市場

プライム市場における課題対応

サステナビリティへの取り組み策定

- マテリアリティの特定とKPI策定
- 基本ポリシー策定

CO2排出量削減、TCFD開示対応

- CO2排出量算定 (Scope1~3)
- CO2排出削減目標策定
- TCFDに基づく開示対応

2022年6月

KPIに基づく
取り組みスタート
各種開示書類にて開示
コーポレートガバナンス報告書等

*TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)



2. 社会貢献：財団共同設立

～ 社会貢献への想い～

農林水産業における技術の発展の一助へ
「食」に関わる課題解決に向けた技術の進化を広く支援
グローバル社会の持続可能な発展に寄与



品種改良



生産技術

一般財団法人

Konno&レスター財団

助成対象テーマ：農林水産業における革新的・先進的技術に関する研究

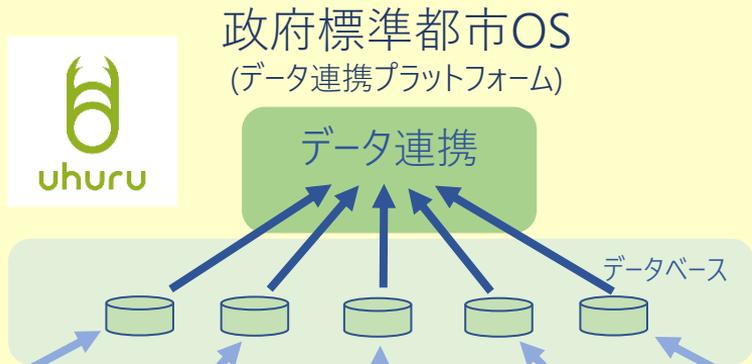
- ✓ 植物工場／施設園芸
- ✓ 海洋養殖／陸上養殖
- ✓ 環境保全とバランスの取れた林産技術

2022年 1月20日設立、2月から助成対象案件募集活動開始

<https://kr-fd.or.jp/>

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/3541/>

3. ウフル協業：自治体レジリエンスソリューション推進



レスタが取り組む事業領域 (ハードウェア・ソリューション・自治体連携)



ハードとソフトの
強みを活かした
サービス提供

ポータル
サイト
サービス

- ・防災情報
- ・施設情報
- ・交通情報
- ・など

自治体レジリエンス
強化への貢献



スマートシティ
スーパーシティへの
取り組み加速

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/3513/>

4. レスターコミュニケーションズ ショールーム開設

Restar Vision Park

～LEDディスプレイの繊細かつダイナミックな表現力の体感型ショールーム～

<https://www.restarcc.com/solution/corporation/led/>



東京都品川区（最寄駅：京急本線新馬場駅）

- リアル感を表現しスピーディーな意思決定を支援

導入例：車メーカーの開発支援

<https://www.restarcc.com/pickup/case/interview/mmc>

- 自治体の防災レジリエンス強化を支援

導入例：防災対策室ソリューション

<https://www.restarcc.com/pickup/tag/bcp>

高品質・ワンストップサービスで実現

企画立案、システム設計から一級建築士による空間デザイン、有資格者による施工管理、運用サポート

<お問い合わせ先>

レスターホールディングス | R 部

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

